

7 常設テント設営 ～たくさんの友達と楽しい夜を過ごそう～		適 期	5～10月
主なねらい ◎友とのきずなを強める		所要時間	準備約30分
		対 象	小学校低学年～
準備物	学校・団体	自然の家	
	雑巾、懐中電灯、その他	常設テント 人数分のシュラフ（不動棟2階の棚にあります） シュラフシート（200円） ランタン（単1電池4本必要・団体持参） 蚊取り線香入れ（蚊取り線香は団体持参）	

## 1 テント設営



写真1



写真2



写真3

### (1) 準備

- ①テントを決めます。（1テントに8人）
- ②テントの中の湿気をとるため両サイドのファスナーを開き通気をよくします。
- ③テントの中には、ほうき・ちりとり・マット・めざら（プラスチック）が揃っているか確認します。（写真1）
- ④テント内を掃き掃除します。
- ⑤めざらをきちんと並べます。（写真2）
- ⑥中にあるスポンジマットを敷きます。
- ⑦各自の荷物を入れます。
- ⑧シュラフを不動棟に、シュラフシートを管理棟1階ホールのロッカーに取りに行きます。

**※シュラフの入っていた袋を紛失しないように気をつけてください。**

### (2) 仕上げ

- ①入れた荷物とシュラフをテント内に置いて整理します。
- ※テントを離れて活動する場合や雨が降りそうな場合には、出入り口のファスナーや窓をしっかりと閉めておきましょう。**

### (3) テントの撤収

- ①シュラフをたたみ、袋に入れ荷物と一緒に外へ出します。
- ②マット、めざらを重ねます。
- ③テント内部が、使用前と同じ状態になったら終了です。
- ④使用した用具を返します。

※シュラフシートは本館浴室前のランドリーボックスに返してください。

## 2 シュラフについて

※シュラフの使い方のオリエンテーションを大切にしてください。

- ・天気が良ければ、一度干してから使用してください。
- ・シュラフを出すときに、どの様に収納されていたかを確認しておく、翌日の収納が手早くできます。
- ・就寝時の温度調節は、脇のファスナーでします。
- ・朝、天候がよければ不動棟横(悪ければ不動棟内)で一度干してから収納して返します。

## 3 留意点

- ・自然の家の標高は670メートルです。夏でも朝夕は涼しいです。衣服の調節を工夫してください。
- ・テントの中は真っ暗になります。懐中電灯の場所を確認しておきましょう。
- ・荒天時の避難場所は、不動棟になります。不動棟は、同じ日にテント泊をしている全ての団体が、共同で使う場所になります。尚、不動棟は、宿泊場所としては利用できません。